

2011年度 職業・キャリア教育学研究室の年次報告

Annual Reports of the Institute of Vocational and Career Education in 2011

職業・キャリア教育学研究室

I. 研究活動

1. 研究交流

<寺田盛紀（教授）の海外での活動>

- ・2011年5月27日から28日：中国・北京で第7回アジア職業教育訓練学会
- ・2011年7月10日から12日：韓国・ソウル特別市で、9月19日から22日中国・上海特別市で、10月3日から10日までドイツ・ハノーファー市他で、10月31日から11月6日までインドネシア・スマラン市他で、11月14日から18日までアメリカ・オハイオ州・ピッカーリントン市で、それぞれ科学研究費課題研究(B)「高校生の職業観形成に関する比較教育文化的研究」に伴う、アンケート調査、ヒヤリング調査を実施。

<研究者の受け入れ>

- ・ハン・ホンジン（Ph.D.韓国京畿道安山市女子情報技術高校教諭：職業教育学）を研究科外国人研究者として招聘（2011年3月14日から7月30日まで）。
- ・2011年7月1日から3日：科学研究費課題研究（上記）の研究交流。クリストファー・ザークル（オハイオ州立大学准教授）、李明薫（忠南大学校准教授）、陸素菊（華東師範大学准教授）、ヘルムート・デーメス（デュイスブルグ・エッセン大学研究員）の各氏の他、各国の高校教師4名を招聘。

2. 共同研究成果

- ・2011年4月：研究室報『職業とキャリアの教育学』第18号の発行。

3. 個人研究成果

■ 寺田盛紀（教授）

<著書>

- ・日本の職業教育 — 比較と移行の視点に基づく職業教育学 — 晃洋書房 改訂2刷(2011.10), 全207頁.

<著書分担執筆>

- ・Terada, Moriki : International Comparative Study on the Formation of High School Students' Vocational Views and the Challenges of Vocational and Career Education. Zhao, Z., Rauner, F., & Hauschild, U. (Eds.): *Assuring the Acquisition of Expertise, Apprenticeship in the Modern Economy*. Beijing, Foreign

Language Teaching and Research Press. pp. 259-262, 2011.5.

- ・ Moriki Terada (2011): Übergang und Vorbereitung auf die Welt der Arbeit in der japanischen Oberschule; System, Praxis und Forschung. Matthias Pilz (Hrsg.): *Vorbereitung auf die Welt der Arbeit in Japan. Bildungssystem und Übergangsfragen*. VS Research, Germany. 107-128, 2011.

<論文>

- ・ 寺田盛紀「日本の高校における職業教育・キャリア教育の課題—移行のためのコンピテンシー形成の視点から—」『職業と技術の教育学』第18号、1-10頁、2011年4月
- ・ 寺田盛紀「ドイツのマイスターとその制度」『日本医事新報』No.4547、64-65、2011年6月
- ・ 寺田盛紀「高校職業教育の将来—教育と卒業生の質の向上・透明化をはかる—」『産業と教育』No. 705、2-7頁、2011年7月

<学会発表>

- ・ Terada, Moriki : International Comparative Study on the Formation of High school Students' Vocational Views and the Challenges of Vocational and Career Education. 7th Congress of Asian Academic Society for Vocational Education and Training. In Beijing, May 27, 2011.

■伊藤彰茂 (大学院生、愛知みずほ大学講師)

<学会発表>

- ・ 伊藤彰茂「職業観の成分構造の変化とその要因—私立 A 大学学生に対する時系列調査の結果から—」日本キャリア教育学会 第33回研究大会 日本体育大学 2011年11月13日

■鬼頭文隆(大学院生)

<論文>

- ・ 鬼頭文隆「分権時代の自治体内教育に関する一考察—市民協働の職場における新たな OJT の可能性—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第58巻2号、2012年3月

II. 学位論文・調査報告 (平23年度)

1. 学士論文

星野冴香「女子大生の就職活動における満足度に対する親の影響—名古屋地区の事例から—」

水谷友香「文系学生の職業選択に対する影響要因—名古屋大学の事例に即して—」

曾我玲奈「職業意識ときょうだい構成の関連—愛知県内の学生に対するアンケート調査を通して—」

王 小含「中国人留学卒業生の就労生活への適応とコミュニケーション」

2. 修士論文

細川卓哉 「外国人生徒の高校進学に影響を与える要因の検討—外国人生徒の人間関係に注目して—」

三輪俊輔 「商業教育についての高校生の意識に関する考察—愛知県6校におけるアンケート調査結果から—」

水島啓進 「高等学校総合学科の実証的研究 —職業教育の視点から—」

張 辰華 「留学生の就職活動における諸能力と意識の実態 —就職採用における筆記試験に関するヒヤリング調査に即して—」